

新型コロナウイルス感染症にかかる市立学校等の対応について

1 夏季休業以前（8月5日以前）について

7月17日、最初の陽性者（10代男性）が確認され、これに伴い、当該小学校を7月20日まで臨時休校としました。

その後、濃厚接触者から陽性者（10代男性）が確認され、当該中学校を7月26日まで臨時休校とするとともに、小学校の臨時休校を7月26日まで延長しました。

2 夏季休業中（8月6日から8月17日）について

期間中の陽性者は3校3名（10歳未満女性2名、10代女性1名）でした。

いずれの場合も、学校内に濃厚接触者は確認されず、夏季休業後に臨時休校を行う必要もありませんでした。

3 夏季休業後始業日以降（8月18日以降）について

始業日前日の8月17日付けで、各学校に児童生徒等の健康管理について通知しました。また、同日付けで、教育委員会と学校長連名により、保護者宛に次の内容のお願い等をメール配信しました。

- ・ 毎朝の検温記録を実施し、体調不良の際は登校せず医療機関へ相談すること
- ・ マスク着用と手洗いの励行及び暑いときにはマスクを外す指導をすること
- ・ 学校は始業日までに消毒を済ませ、感染予防対策と熱中症対策を徹底していること
- ・ やむなく感染・発症された方を責めることなく、誹謗中傷等を厳に慎み、SNS等の利用についても格別の配慮をすること

現時点では、学校内でのクラスターの発生はありません。

各学校においては、登校後の検温や手洗い、マスクの着用、室内の換気、校内の消毒等の実施により、感染症予防に細心の注意を払っています。

また、熱中症予防の観点から、登下校を含め、水分を補給すること、暑いときや息苦しいと感じたときはマスクを外すことを指導しています。